

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和4年度 国語表現 年間学習計画

教科:(国語)科目:(国語表現) 対象:(第4学年A組 第4学年B組)

教科担当者:(A組:君島 弘道 ㊞ B組:君島 弘道 ㊞)

使用教科書:国語表現 改訂版(教育出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「国語表現」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	ガイダンス	評価法、授業の進め方等の説明	定期考査の 得点、毎時間 の漢字小テストの合計点、 ノート等の提出物の合計 点、いずれも 40点が目安。 そのほか、授 業態度等を加 味する。	5
	原稿用紙の使い方	原稿用紙が正しく使えるようになる。		
	原稿用紙の使い方	原稿用紙が正しく使えるようになる。		
	一文を短く	一文を短くして文章を書く練習をする。		
5月			定期考査の 得点、毎時間 の漢字小テストの合計点、 ノート等の提出物の合計 点、いずれも 40点が目安。 そのほか、授 業態度等を加 味する。	7
	自分自身を振り返りながら	スピーチのためのメモを作る		
	自分自身を振り返りながら	スピーチのための下書きをする。		
	スピーチをする	学年生徒の前でスピーチをする。		
	中間考査			
6月	小論文を書くことを通して、 社会で問題になっている ことを知る。	小論文の構成メモの作り方について学ぶ	定期考査の 得点、毎時間 の漢字小テストの合計点、 ノート等の提出物の合計 点、いずれも 40点が目安。 そのほか、授 業態度等を加 味する。	8
	小論文を書くことを通して、 社会で問題になっている ことを知る。	小論文の構成メモの作り方について学ぶ		
	小論文を書くことを通して、 社会で問題になっている ことを知る。	小論文の構成メモの作り方について学ぶ		
	修学旅行			
7月	期末考査			4
	補習			
9月	小論文を書くことを通して、 社会で問題になっている ことを知る。	小論文の構成メモの作り方について学ぶ	定期考査の 得点、毎時間 の漢字小テストの合計点、 ノート等の提出物の合計 点、いずれも 40点が目安。 そのほか、授 業態度等を加 味する。	8
	小論文を書くことを通して、 社会で問題になっている ことを知る。	小論文の構成メモの作り方について学ぶ		
	小論文を書くことを通して、 社会で問題になっている ことを知る。	小論文の構成メモの作り方について学ぶ		
	修学旅行			

10月	小説『高瀬舟』を読んで、作品のテーマを読み取る。	小説で扱っている内容を理解する。		
	小説『高瀬舟』を読んで、作品のテーマを読み取る。	小説で扱っている内容を理解する。	定期考査の得点、毎時間の漢字小テストの合計点、ノート等の提出物の合計点、いずれも40点が目安。そのほか、授業態度等を加味する。	8
	小説『高瀬舟』を読んで、作品のテーマを読み取る。	小説で扱っている内容を理解する。		
	小説『高瀬舟』を読んで、作品のテーマを読み取る。	小説のテーマについて理解し、自分の意見を小論文の形で表出する。		
11月	小説『高瀬舟』を読んで、作品のテーマを読み取る。	小説のテーマについて理解し、自分の意見を小論文の形で表出する。		
	新聞を読む	コラムなどの視写を通し、新聞などのメディアから情報を取り入れる力を養う。	定期考査の得点、毎時間の漢字小テストの合計点、ノート等の提出物の合計点、いずれも40点が目安。そのほか、授業態度等を加味する。	8
	新聞を読む	新聞のコラムを読んで内容を要約し、自分の意見を表出する。		
	新聞を読む	コラムなどの視写を通し、新聞などのメディアから情報を取り入れる力を養う。		
12月	新聞を読む	新聞のコラムを読んで内容を要約し、自分の意見を表出する。		
	期末考査			4
	補講			
1月	手紙の書き方	内容にふさわしい手紙の形式を学ぶ。	定期考査の得点、毎時間の漢字小テストの合計点、ノート等の提出物の合計点、いずれも40点が目安。そのほか、授業態度等を加味する。	8
	手紙の書き方	内容にふさわしい手紙の形式を学ぶ。		
	手紙の書き方	内容にふさわしい手紙の形式を学ぶ。		
	手紙の書き方	内容にふさわしい手紙の形式を学ぶ。		
2月	学年末考査		定期考査の得点、毎時間の漢字小テストの合計点、ノート等の提出物の合計点、いずれも40点が目安。そのほか、授業態度等を加味する。	8
	補習			
3月				2

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和5年度 言語と文化 年間学習計画

教科:(国語)科目:(言語と文化) 対象:(第4年A組・B組)

教科担当者:(A・B組:益本光章<sup>印</sup>)

使用教科書:新編言語文化(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「言語と文化」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	オリエンテーション	準備物、評価用法、学習におけるルール等を理解する。	観察、ノート	1
	言語文化と漢文	日本語の歴史について学び、日本語の中に生きる漢文について理解する。	定期考査 ノート 観察	5
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	1
5月	訓読のきまり	訓点について学び、白文に訓点を施すことができるようにする。	定期考査 ノート 観察	5
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	2
	中間考査			1
6月	故事成語 「狐借虎威」	漢文を訓読し、要旨をつかむとともに、故事成語に親しむ。	定期考査 ノート 観察	6
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	2
7月	期末考査			1
	補習			4
9月	言語文化と古文	言語文化の歴史を学び、日本語がどのように変遷してきたのかを理解する。	定期考査 ノート 観察	1
	古文入門 「古文の学習」	古文と現代文の違いや、読解に 必要な基礎的事項を理解する。	定期考査 ノート 観察	5
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	2
10月	古文に親しむ 「兎のそら寝」	本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 兎の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。	定期考査 ノート 観察	4
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	2
	中間考査			1
11月	物語を楽しむ 「伊勢物語 筒井筒」	本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 歌物語の特徴を理解し、物語における和歌の効果について学ぶ。	定期考査 ノート 観察	4
	物語を楽しむ 「伊勢物語 筒井筒」	本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 歌物語の特徴を理解し、物語における和歌の効果について学ぶ。	定期考査 ノート 観察	6
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	2
12月	物語を楽しむ 「伊勢物語 筒井筒」	本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 歌物語の特徴を理解し、物語における和歌の効果について学ぶ。	定期考査 ノート 観察	6
	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	1
	期末考査			1
1月	補習			2
	言語文化と近現代	言語文化の歴史について学び、近現代の日本語の表現や特色について理解する。	定期考査 ノート 観察	6
2月	「漢字の読み書き」	部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。	小テスト	2
	学年末考査		定期考査 ノート 観察	1
3月	補習		小テスト	4
				78

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和4年度 世界史A 年間学習計画

教科：社会 科目：世界史A 単位数：2 単位

対象学年組：第4 学年 A・B 組

教科担当者：(A組：長坂昌樹) (B組：長坂昌樹)

使用教科書：明解世界史A 帝国書院

使用教材：教科書・ワークシート

指導内容 【年間授業計画】	科目「 世界史A 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
オリB11:H31エンターション 世界史Aを学ぶ意義	・歴史を学ぶ意義を自分なりに考察させ、世界史Aを学ぶ意義に気付くことができる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
3. 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 (1) ヨーロッパとアメリカの諸革命 ア アメリカの独立	本単元では産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。 ア アメリカが独立する過程と、独立する際の主張を、イギリス革命と関連させて考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	1
イ フランス革命	イ フランス革命の過程と主張をイギリス革命やアメリカの独立と関連させて考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
4 月			
ク ナポレオンとウィーン体制	ナポレオンによってヨーロッパ諸国にナショナリズムと自由主義が拡大したことを理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
エ フランス革命と社会生活の変化	ナショナリズムが現代に与えている影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
○中間考査			1
オ 革命の拡大	ラテンアメリカ地域で起きた革命と、フランス革命の関係について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	1
(2) 欧米の工業化 ア 産業革命のはじまり	イギリスにおける産業革命の経過とその影響を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
イ 資本主義社会の成立	産業革命の影響を受けて成立した資本主義社会の中で生まれた思想について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
(3) 自由主義・ナショナリズムの進展 ア 18世紀半ば以降のヨーロッパ	諸国民の春、ドイツとイタリアの統一とナショナリズムの関わりについて考える。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
イ ロシア・アメリカの動向	欧米諸国がアジアへ進出する前提として、アメリカとロシアが拡大を目指していくことを理解する。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
○期末考査			1
(4) アジア諸国の動揺 ア 19世紀の西アジア	ナショナリズムやヨーロッパ諸国の影響が西アジア地域に及ぼした影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
イ 19世紀の南・東南アジア	東南アジアや南アジアが欧米諸国の植民地となったことを理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
(5) 東アジアの大変動 ア 東アジア国際秩序の崩壊	東アジア地域が欧米を中心とした主権国家体制に飲み込まれていったことを理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
イ 東アジアの大変動	東アジアにおける国内の改革や対外関係の変化について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
4. 現代社会の芽生え (1) 現在につながる社会の形成 ア 大衆社会	この単元では、科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解し、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。 ア 19世紀末から起きた大衆社会の出現と、現代の私たちの生活とを比較して考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
イ 第二次産業革命の影響	帝国主義や世界の一体化と第二次産業革命の関わりについて考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への 取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】	2
9 月			

月	(2) 第一次世界大戦がもたらしたもので第一次世界大戦前夜	第一次世界大戦前夜のバルカン半島での緊張の高まりを理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	○中間考査			1
	イ 第一次世界大戦と総力戦	総力戦の観点から第一次世界大戦の特徴や被害の大きさについて考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	ウ ロシア革命	第一次世界大戦とロシア革命のかかわりを理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
月	エ 戦間期の国際体制	戦間期の国際体制としてベルサイユ体制とワシントン体制が目指したものについて理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	(3) 民族自決を求めて	民族自決を求めるアジアの運動について理解させる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	1
	(4) 世界恐慌とその影響	世界恐慌が世界各地にもたらした影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	(5) 世界恐慌と日本	世界恐慌が日本にもたらした影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
月	(6) 第二次世界大戦	第二次世界大戦の経過と被害について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	3
	○期末考査			1
	5. 冷戦から地球社会へ (1) 冷戦のはじまり ア 戦後の国際体制	戦後の国際体制について、国際連合を中心に考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	イ 冷戦のはじまり	アメリカとソ連の対立が世界的な冷戦につながっていく過程を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	ウ 冷戦とアジア	戦後のアジア諸国の動向と冷戦の関係について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	エ 冷戦構造の変化	第三勢力の動きや米ソの緊張緩和など、冷戦構造の変化を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
(2) 冷戦終結への道のり	冷戦の終結によって模索される新たな世界構造について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2	
1月	○学年末考査			1
	(3) 地球社会への歩み ア グローバル化	冷戦終結以降によってグローバル化が引き起こされたことやその影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	イ 世界の紛争	中東問題など世界で起きている紛争とグローバル化のかかわりについて考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
	ウ 日本とアジア	日本とアジア諸国の関係について、これまでの学習内容をふまえて考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
2月	エ 地球的課題	地球的規模の課題について、NGOやNPOの取り組みの意義を考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	1
	オ まとめ	これまでの学習を振り返り、歴史を学ぶ意義について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定評考査 【知識・理解】	2
3月				

東京都立葛飾商業高等高校 定時制課程 令和4年度 日本史A 年間学習計画

教 科 : 社会 科目 : 日本史A 単位数 : 2 単位  
 対象学年組 : 第 4 学年 A・B 組  
 教科担当者 : (A組 : 長坂昌樹 ) (B組 : 長坂昌樹 )  
 使用教科書 : 日本史A 人・くらし・未来  
 使用教材 : 教科書・ワークシート

指導内容 【年間授業計画】	科目「 日本史A 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月 オリエンテーション 日本史Aを学ぶ意義	・歴史を学ぶ意義を自分なりに考察させ、世界史Aを学ぶ意義に気付くことができる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
江戸時代	近現代史を学ぶ前提として、江戸幕府の成立や支配の概要を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
江戸時代の庶民	日本が近代国家として発展する基礎となった庶民の活動や、思想を理解させる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	1
5月 1. 近代の日本と世界 (1) 近代への胎動	外国船の接近などにより幕府の支配体制が揺らぐ様子を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	1
(2) 開国と幕末の動乱 ア 開国	開国によって日本がヨーロッパを中心とする国際秩序に組み込まれ、不平等条約を結んだことを、資料をもとに考察させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
○中間考査			1
イ 幕末の動乱	開国後、攘夷の運動が倒幕運動へとつながり、薩摩藩と長州藩などを中心にした新政府が成立する過程を理解させる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
6月 (3) 近代国家の形成 ア 明治維新①	明治維新の過程を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
イ 明治維新②	明治維新によって目指された近代国家の特徴について考察させる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
ウ 明治政府の外交	明治政府の外交方針と、それをめぐる対立が及ぼした影響について理解させる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
エ 大日本帝国憲法	大日本帝国憲法の特徴について資料を基に考察させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
7月 ○期末考査			1
(4) 国際関係の推移と近代産業の発展 ア 日清戦争とその影響	日清戦争が国内の政治や国際関係に与えた影響を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
イ 日露戦争とその影響	日露戦争が国内の政治や国際関係に与えた影響を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
9月 ウ 産業革命	日本で産業革命が起き、資本主義が形成されたこと、その影響について考察し、当時の人々と現代に住む我々の考え方を比較して表現させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
(5) 第一次世界大戦と日本 ア 第一次世界大戦と日本	日本が第一次世界大戦に参戦した理由を、資料をもとに考察させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
イ 第一次世界大戦後の国際体制と日本	第一次世界大戦後の国際関係の変化について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
第一次世界大戦後の日本	第一次世界大戦後の国内の変化について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2

10月	(6)戦間期の日本 ア 第一次大戦後の経済恐慌が日本に与えた影響と国内の反応について理解させる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2	
	○中間考査		1	
	(7)日中戦争 ア 満州事変 イ 日中戦争	満州事変が引き起こされた過程について理解させる。 満州事変に続く日中戦争がアジア・太平洋戦争のきっかけとなったことを理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2 2
11月	(8)アジア・太平洋戦争 ア 戦争の過程 イ 戦争の被害と国民生活	アジア・太平洋戦争の過程を理解させる。 アジア・太平洋戦争が日本・アジア諸国などの国民に与えた影響や被害について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2 2
	2.近代の追求 ア (1)日本の再出発 ア GHQ イ 新しい国の仕組み	GHQによる日本の占領の過程とそれによる日本の変化を理解させる。 日本国憲法によって国の仕組みがどのように変わったかを、実際の条文を読みながら考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	1 2
	ウ 占領下の政治と生活 ○期末考査	敗戦直後の人々の生活の様子について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2 1
	エ 冷戦と独立	日本の独立と冷戦の関係について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	3
12月	(2)独立後の政治と経済の発展 ア 独立後の政治対立と平和運動 イ 高度経済成長と長期保守政権	独立後の保革対立について理解させる。 高度経済成長と長期保守政権のかかわりや、環境問題の発生、国民生活の変化について考えさせる	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2 2
	ウ 冷戦の緊張緩和と日本	冷戦の緊張緩和が日本に与えた影響を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
	(3)現代の日本と世界 ア オイルショックと日本	オイルショックによって日本の高度経済成長が終わりを迎えたこと、それに対する国内外の対応を理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
	○学年末考査			1
2月	イ バブル経済	バブル経済の原因について理解させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
	ウ 冷戦の終結と日本	冷戦の終結が国内政治に与えた影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
	エ 冷戦後の国内状況	1990年代の日本の国内状況について概観させる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2
3月	オ これからの日本 オ まとめ	現在の日本が抱えている課題について、これまでの学習を踏まえて考えさせる。 これまでの学習を振り返り、歴史を学ぶ意義について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 授業態度、授業課題への取り組み 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期考査 【知識・理解】 定期考査、ワークシート	2 1

# 東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和5年度 物理基礎 年間学習計画

教科:(理科)科目:(物理基礎) 単位数:2単位 対象:(第4学年A組)

教科担当者:(A組:蔦谷 幹彦 ㊟)

使用教科書: 高等学校 改訂 物理基礎(第一学習社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「物理基礎」指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	ガイダンス	『物理基礎』教科説明	知識 小テスト	1
	運動の表し方	物体の速度	知識 小テスト	2
	運動の表し方	物体の加速度	知識 小テスト	2
5月	運動の表し方	落体の運動	興味・関心	2
	運動の表し方	落体の運動	興味・関心・ 知識	2
	中間考査	中間考査	知識	1
6月	運動の法則	力とそのはたらき	興味・関心	2
	運動の法則	力のつりあい	興味・関心・ 知識	4
	運動の法則	運動の法則	興味・関心・ 知識	
	運動の法則	運動の法則	知識	
7月	期末考査	期末考査	知識	1
	1学期のまとめ	1学期のまとめ	知識	2
9月	運動の法則	液体や気体から受ける力	興味・関心	1
	運動の法則	液体や気体から受ける力	興味・関心 小テスト	2
	仕事と力学的エネルギー	仕事	興味・関心 小テスト	2
	仕事と力学的エネルギー	運動エネルギー	興味・関心・ 知識	2



10月		古生物について(示相化石と示準化石)	知識	2
	私たちの地球	大地とその動き	知識・興味・関心	1
		地球の内部構造	知識	1
		中間考査	知識	1
11月	波	地震と火山活動	知識	3
	波	地震や火山による災害	興味・関心	1
	波	大気と海洋	知識	2
		雨や雪がふるしくみ	興味・関心	1
12月	波	期末考査	知識	1
	期末考査	二学期のまとめ	知識	2
	電気	電気の性質	知識・興味・関心	1
		電気の性質	知識・興味・関心	2
		電気とエネルギー	知識・興味・関心	1
1月		電気とエネルギー	知識・興味・関心	1
2月	学年末考査	学年末考査	知識	1
3月				

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和5年度 体育 年間学習計画

教 科 : 保健体育 科 目 : 体育 単位数 : 2 単位  
 対象学年組 : 第 4 学年 A・B 組  
 教科担当者 : (A組 土倉 ・ 青木 ) (B組 土倉 ・ 青木 )  
 使用教科書 :  
 使用教材 :

指導内容 【年間授業計画】	科目「 体育 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	オリエンテーション		1
	体づくり運動	【体ほぐしの運動】 ストレッチ リラクゼーション	2
5 月	体づくり運動	【体力を高める運動】 ジャンプトレーニング 自重トレーニング インターバルトレーニング	5
	体力テスト	50m走 ハンドボール投げ	4
6 月	体力テスト	握力 上体起こし 反復横跳び 長座体前屈 立幅跳び シャトルラン	2
	バドミントン	基本練習を通して、競技のルールやマナー、特性などを理解し、競技に親しむ態度を身につけさせる	6
7 月	バドミントン	状況に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空間を作り出すなど攻防ができるようにする	6
9 月	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする	6

10月	卓球	<p>基本練習を通して、競技のルールやマナー、特性などを理解し、競技に親しむ態度を身につけさせる</p> <p>状況に応じたボール操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空間を作り出すなど攻防ができるようにする</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	6
	卓球	<p>フェアプレイを大切にすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどを身につけさせる</p>		2
11月	バレーボール	<p>基本練習を通して、競技のルールやマナー、特性などを理解し、競技に親しむ態度を身につけさせる</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	6
	バレーボール	<p>状況に応じたボール操作や安定した動きによって空間を作り出すなど攻防ができるようにする</p> <p>フェアプレイを大切にすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどを身につけさせる</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	8
12月	バレーボール	<p>状況に応じたボール操作や安定した動きによって空間を作り出すなど攻防ができるようにする</p> <p>フェアプレイを大切にすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどを身につけさせる</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	8
	長距離走	<p>記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに技能を身に付ける</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	6
1月	長距離走	<p>記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに技能を身に付ける</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	6
2月	長距離走	<p>記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに技能を身に付ける</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	8
3月	長距離走	<p>ペースの変化に対応して走る</p>	<p>関・思・技・知を総合して判断する。特に出席状況、授業への取り組み、各競技への理解度、集団で取り組む姿勢、リーダーシップ等を実技のなかで評価する。</p>	4

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 2022年度 英会話 年間学習計画  
 教科:(外国語)科目:(英語会話) 単位数:2単位 対象:(第4学年αクラス)  
 教科担当者:(αクラス:安田恵子 ㊞ βクラス:西瀬人美 ㊞)  
 使用教科書:東京書籍 Hello there! English Conversation

指導内容 【年間授業計画】	科目「英語会話」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	英語の自己紹介	*課題の提出 *活動への取り組み *小テスト	1
	Lesson1		1
5月	Lesson1		2
	中間考査		2
	Lesson2		2
	Lesson2		2
6月	Lesson2		2
	Lesson2		2
	Lesson2		2
	Lesson3		2
7月	Lesson3	1	
	期末考査	1	
	1学期の復習	1	
9月	Lesson4	2	
	Lesson4	2	
	Lesson4	2	
	Lesson4	2	
中間考査までの復習	中間考査までの学習事項を総合的に復習し、定着を図る。		2
中間考査	既習の文法事項や表現を総合的に復習し、定着を図る。		2

10月	3人称単数現在形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者に許可を求めたり、許可することができる。</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語76-80小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出</li> <li>・活動への取り組み</li> <li>・小テスト</li> </ul>	2
	Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が知らない料理について英語で説明することができる。</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語81-85小テスト</li> </ul>		2
11月				1
	Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・否定詞notを含んだ疑問文Isn't it~?の形と意味を理解し、会話の中で用いることができる。</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語91-95小テスト</li> <li>・様々な否定文の練習問題</li> </ul>		2
	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者に同情したり、事情を理解したことを示すことができる。</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語96-100小テスト</li> </ul>		2
	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の助言聞いたり、助言をすることができる。</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語101-105小テスト</li> </ul>		2
12月				2
	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在進行形(未来)の意味と形を理解し、会話の中で用いることができる。</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語106-110小テスト</li> <li>・基礎的な未来を表す表現の練習問題</li> </ul>		1
	期末考査	既習の文法事項や表現を総合的に復習し、定着を図る。		1
	2学期の復習	2学期の学習事項を総合的に復習し、定着を図る。		1
1月				1
	過去形復習 (冬休み・週末の出来事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で休暇中の出来事を表す表現を理解する</li> <li>・学んだ表現を用い、簡単な会話の中で表現する。</li> </ul>		1
	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住む街と文化について簡単な英語を用いて描写することができる。</li> <li>・時間と距離・方角に関するitの用法</li> <li>・語彙: 重要基礎英単語111-115小テスト</li> </ul>	2	
	期末考査	既習の文法事項を総合的に復習し、定着を図る。	2	
2月			2	
			2	
			2	
			2	
3月			2	
			2	
			2	
			2	

東京都立葛飾商業高等高校 定時制課程 令和5年度 子どもの発達と保育 年間授業計画

教 科： 家庭科 科目： 子どもの発達と保育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組

教科担当者： (A組：小野百合恵 )

使用教科書： 子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う (教育図書)

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「子どもの発達と保育」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	オリエンテーション	1年間の学習内容と授業のルールを理解する。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	1
	第1章 子どもの発達の特徴 1 乳幼児期の大切さ	人の発達期の区分と関連課題について理解し、乳幼児期は発達の基礎を培う大切な時期であることを理解する。	技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	1
	2 発達と環境	乳幼児の発達に影響を与える、人的環境、自然環境、物的環境、社会・文化的環境について理解する。		1
	3 発達と環境	子どもを取り巻く環境や、児童観・発達観の変遷について知る。		2
5月	第2章 子どもの発達過程 1 乳幼児期の発達の特徴	乳幼児期の発達の順序と方向性、連続性と速度、個人差などについて理解する。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
	2 身体と運動機能の発達	乳幼児期の身長・体重・骨格などの発育の目安と評価法について理解する。	技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	2
	3 乳幼児期の生理的特徴	乳幼児期の生理的特徴について理解する。		2
	4 心と情緒・言語の発達	情緒・言語・自己意識の発達について理解する。 乳幼児の認知のしかたは大人とは違った特徴を持っていることに気付く。		1
6月	第3章 子どもの生活 1 子どもの健康と生活	子どもの成長権に応じた親の役割と育児行動について理解する。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
	2 子どもの衣服	乳幼児に適した被服の素材・型を知り、適切な衣服計画ができるようにする。	技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	2
	2 子どもの衣服	ベビースタイ製作		2
	2 子どもの衣服	ベビースタイ製作		2
	2 子どもの衣服	ベビースタイ製作		2
7月	期末考査		関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	1
	答案返却・振り返り		技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	1
	3 子どもの健康管理	子どもの健康を守るための親の役割を理解し、健康状態の観察方法を理解する。		1
9月	第4章 子どもの保育 1 保育の意義と目的	人間形成の基礎を培う乳幼児期の大切さと保育の意義について考える。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
	2 保育の方法	子どもの成長には、子どもを受け止め理解してくれる大人の存在が不可欠であることを知る。	技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	2
	3 保育の環境	保育所、幼稚園、認定こども園など、様々な保育施設や子育て支援の場の特徴を知る。		2
	3 保育の環境	児童文化財・壁面構成製作		2
	3 保育の環境	児童文化財・壁面構成製作		2

10月	3 保育の環境	児童文化財・壁面構成製作	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
	3 保育の環境	児童文化財・壁面構成製作	ワークシート 技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	2
	4 子どもの遊び	遊びの意義を理解し、種類と形態を知る。 遊びが子どもに及ぼす影響について理解する。		2
	4 子どもの遊び	子どもの遊び体験を通して、発達段階に応じた親の働きかけの重要性について考える。		2
	第5章 子どもの福祉と子育て支援 1 子どもの福祉	子どもの福祉の理念について理解し、歴史的な経緯を知り、児童福祉法について理解する。		2
11月	2 子育て支援	少子社会における子どもを取り巻く環境の変化について考え、子育てを支える社会の支援が必要であることを理解する。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
	3 これからの子どもの福祉	男女共同参画社会における、子育てに関する課題を知り、これからの子どもの福祉について考える。	技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	2
	第3章 子どもの生活 2 子どもの食事	乳幼児期の食生活の重要性と特徴を理解する。		2
	2 子どもの食事	乳幼児期の食事の実態と問題点について知り、食習慣・栄養面的課題について考える。		2
12月	2 子どもの食事	幼児食体験実習を通して、乳幼児期の食生活の特徴と育児行動について理解する。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
	期末考査		技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	1
	答案返却と振り返り			1
	2 子どもの食事	幼児食体験実習を通して、乳幼児期の食生活の特徴と育児行動について理解する。		1
	2 子どもの食事	幼児食体験実習を通して、乳幼児期の食生活の特徴と育児行動について理解する。	関心・意欲・態度 授業態度、ワークシート 思考・判断 ワークシート	2
1月	1年間の振り返りとまとめ		技能・表現 ワークシート、作品 知識・理解 ワークシート	2
2月				
3月				

東京都立葛飾商業高等高校 定時制課程 令和4年度 人間と社会 年間学習計画

教 科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数： 1 単位  
 対象学年組： 第 4 学年 ・B 組  
 教科担当者：(A組： ) (B組：土倉・君島 )  
 使用教科書：  
 使用教材：

指導内容 【年間授業計画】	科目「人間と社会」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
		欠席せずに点訳等の作業に熱心に取り組んでいるか。	
4月			
事前学習 ガイダンス 世の中を知る	奉仕に関する基礎的、基本的な知識を習得させる。		
支え合う社会	「人間と社会(仮称)」のテキストを活用し、共助・公助について学ぶ。		
支え合う社会	「人間と社会(仮称)」のテキストを活用し、共助・公助について学ぶ。		
5月			
ボランティア活動の紹介	奉仕に関する基礎的、基本的な知識を習得させる。		
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
6月			
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
7月			
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 高砂福祉館のイベントに参加。点字作業、マナーを学ぶ。		
奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
9月			
支え合う社会	「人間と社会(仮称)」のテキストを活用し、共助・公助の精神やボランティア活動について自らの考えを深める。		



	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
10月	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集		
	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 葛飾区産業フェアに参加。点字作業		
	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、地域ボランティアセンターの活用、手話実習		
11月	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、地域ボランティアセンターの活用、手話実習		
	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、地域ボランティアセンターの活用、手話実習		
	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集、清掃活動、レポート作成。		
12月	奉仕体験活動	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 点字作業、販売実習の手伝い、ペットボトル、古切手ペルマークの収集、清掃活動、レポート作成。		
	支え合う社会	「人間と社会(仮称)」のテキストを活用し、共助・公助の精神やボランティア活動について自らの考えをレポートにまとめる。		
1月	奉仕体験事後指導	奉仕の学習を通して社会貢献できる資質を育成する。 1年間を振り返り、奉仕活動報告会		
2月				
3月				

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和5年度 総合実践 年間学習計画

教 科： 商業 科目： 総合実践 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 4 学年 B 組  
 教科担当者： (A組： ) (B組：大木 康吉 )  
 使用教科書： なし  
 使用教材： 作成プリント等

	指導内容 【年間授業計画】	科目「 総合実践 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	1 ビジネスとコミュニケーション	企業組織と業務の進行方法と仕事に対する心構えと人的ネットワークを学ぶ	関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	2
	"	"		4
	2 ビジネスマナー	挨拶、身だしなみ、言葉遣いを学ぶ		3
5月	ビジネスマナー	名刺交換・訪問・電話の対応、席次、食事を学ぶ	関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	3
	"	訪問の対応、接客美対応を学ぶ		3
	中間考査			1
	ビジネス思考の方法とコミュニケーション	ホスピタリティの概念、ビジネスコミュニケーションの基本を学ぶ	"	1
6月	ビジネス思考の方法とコミュニケーション	ディスカッションとプレゼンテーション交渉を学ぶ	関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	2
	"	苦情処理、会議を学ぶ		3
	ビジネス思考の方法とコミュニケーション	商品説明とワークショップ、SNSを学ぶ	"	3
	"	文書におけるコミュニケーションを学ぶ	"	3
7月	期末考査		関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	1
	進路とビジネスコミュニケーション	演習問題		3
	売買取引に関する実践	経理入力の方法について		3
9月	"	"	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	3
	"	企業の基礎的な取引と入力		3
	"	"		3

10月	売買取引に関する実践	企業の基礎的な取引と入力	関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	2
	"	"		1
	"	"		3
	"	"		1
	"	"		3
11月	売買取引に関する実践		関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	1
	"	"		3
	"	"		3
	"	"		2
	"	"		2
12月	売買取引に関する実践	決算業務	関・思・技・知を総合して判断する。提出物、課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	2
	"	"		2
	"	"		3
1月	Officeソフト活用に関する実践	Wordの諸機能の活用 Excelの諸機能の活用	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	3
	"	"		3
	"	"		2
	"	"		1

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和5年度 課題研究 年間学習計画

教科:( ) 科目:(総合的な探求の時間) 単位数:3単位 対象:(第4学年A組)

教科担当者:(A組:大木康吉 ㊟ ・小嶋 一生 ㊟ ・小野 百合恵 ㊟)

使用教材:ワークシート

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	1. ガイダンス  2. 仕事と自分について考える ①ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>探求について</li> <li>探求方法について</li> <li>自己理解について</li> <li>職業適性について</li> <li>業種と職種について</li> <li>ビジネスマナーについて</li> <li>技能と資格について</li> </ul>	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	1
				3
				3
				3
5月	2. 仕事と自分について考える ②探求課題の設定 ③個人研究1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人での課題設定</li> <li>情報の収集</li> <li>情報の整理と分析</li> <li>中間発表資料の作成</li> </ul>		1
				3
				3
				1
6月	2. 仕事と自分について考える ④中間発表 ⑤振り返り  ⑥個人研究2	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間発表</li> <li>相互フィードバック</li> <li>振り返り</li> <li>課題の再検討と修正</li> <li>情報の収集</li> <li>情報の整理と分析</li> <li>まとめ</li> <li>最終発表資料の作成</li> </ul>		2
				3
				3
				2
7月	2. 仕事と自分について考える ⑦最終発表 ⑧振り返りとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終発表</li> <li>論文作成</li> </ul>		1
				3
				3
				1

9月	3. 社会で生きるために必要なことについて考える ①ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアリテラシー教育について</li> <li>・消費者教育について</li> </ul>	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	1
				3
				3
				3
				3
10月	3. 社会で生きるために必要なことについて考える ②探求課題の設定 ③個人研究1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人での課題設定</li> <li>・情報の収集</li> <li>・情報の整理と分析</li> <li>・中間発表資料の作成</li> </ul>		3
				3
				3
				1
				2
11月	3. 社会で生きるために必要なことについて考える ④中間発表 ⑤振り返り  ⑥個人研究2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間発表</li> <li>・相互フィードバック</li> <li>・振り返り</li> <li>・課題の再検討と修正</li> <li>・情報の収集</li> <li>・情報の整理と分析</li> <li>・まとめ</li> <li>・最終発表資料の作成</li> </ul>		3
				3
				3
				2
				1
12月	3. 社会で生きるために必要なことについて考える ⑦最終発表 ⑧振り返りとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終発表</li> <li>・論文作成</li> </ul>		3
				3
				3
				3

1 月	4. 持続可能な社会に向けて ①ガイダンス ②探求課題の設定 ③グループ研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題について</li> <li>・情報の整理と分析</li> <li>・まとめ</li> <li>・最終発表資料の作成</li> </ul>	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	3
				3
				3
				1
2 月				
3 月				

東京都立葛飾商業高等学校 定時制課程 令和5年度 課題研究 年間学習計画

教科：商業

科目：課題研究

単位数：3 単位

対象学年組：第4 学年 B 組

教科担当者：(B組：大木 康吉 ) (B組：中安 基之 )

使用教科書：

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「 課題研究 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	調査・研究(1)	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	1
				3
				3
				3
5月	調査・研究(1)	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる		3
				3
				3
				3
6月	調査・研究(1)	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる 調査・研究成果の発表資料作成		1
				3
				3
				3
				1
7月	調査・研究(1)	調査・研究成果の発表資料作成 調査・研究成果の発表		3
				3
				3
9月	調査・研究(2)	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	1
				3
				3
				3
				3

10月	調査・研究（2）	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる		3
				3
				3
				3
				1
11月	調査・研究（2）	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる		3
				3
				3
				3
12月	調査・研究（2）	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる		3
				3
				3
1月	調査・研究（2）	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる	関・思・技・知を総合して判断する。課題への取り組み、出席状況を評価の判断基準とする。	3
				3
				3
				3
2月	調査・研究（2）	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる 調査・研究成果の発表資料作成 調査・研究成果の発表		2
				3
				2
				2
3月	調査・研究（2）	調査・研究成果の発表資料作成 調査・研究成果の発表		2
				3